

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

黒石市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県黒石市

3 地域再生計画の区域

青森県黒石市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、国勢調査によると平成2年から平成22年の20年間で減少傾向にある。住民基本台帳による近年の傾向も同様で、平成27年で35,234人となっている。また、令和元年末時点の人口は33,084人となっている。

年齢区分別人口では、0～14歳と15～64歳は減少、65歳以上の高齢者人口は年々増加し、平成27年の高齢者の人口割合は28.5%と、少子高齢化の進行がうかがえる。

自然動態をみると、出生数は、年により増減はあるが、200人前後で推移しており、平成29年は168人となっている。死亡数は、平成23年～平成24年に約500人へ増加したが、以降はやや減少し、平成29年で483人となっており、自然増減は、出生数を死亡数が上回る「自然減」が続いている。

社会動態をみると、転入数は、平成21年の840人をピークに減少傾向にあり、平成29年は719人となっている。転出数は、平成20年の1,085人をピークに減少傾向にあり、平成29年で924人となっており、社会増減は、転入数を転出数が上回る「転出超過」が続いており、平成25年以降はやや超過の幅は近づき、200人から250人前後の「転出超過」で推移している。

国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計によると令和22年の本市の総人口は22,411人まで減少し、令和42年には、平成22年から21,967人減の14,165人と、半数以下まで減少する予測となっている。

自然減と社会減の両方が進行する本市の人口減少問題は、地域経済や地域住民の生活に大きな影響を与える極めて深刻な問題であり、その克服に向けて、今後も市を挙げて取り組んでいかなければならない。

これらの課題に対応するため、「しごとづくり」・「新たなひとの流れづくり」・「若い世代の結婚・出産・子育ての希望づくり」・「健康づくりと地域づくり」の4つの項目を政策分野として設定し、若者の定着、出生数の増加、死亡者数の減少させるための社会減対策や自然減対策の取組みを推進するとともに、住み慣れた地域で元気に生きがいを持って暮らしていくための黒石力（＝コミュニティ力）強化による地域福祉の充実を図ることで、人口構造の変化に対応し、人口減少を克服する。

【数値目標】

5-2 の①に 掲げる 事業	K P I	現状値 (計画開始時 点)	目標値 (R6 年度)	達成に寄与す る地方版総合 戦略の施策分 野
ア	地域の担い手（認定農業者）数	319 人	415 人	政策分野 1
ア	次世代の農業を担う青年就農業者数	25 人	30 人	政策分野 1
ア	市内事業所数（従業員 4 人以上）	44 事業所	45 事業所	政策分野 1
ア	市内従業者数（従業員 4 人以上）	2,515 人	2,643 人	政策分野 1
ア	コミュニティビジネス実施団体	0 団体	5 団体	政策分野 1
イ	移住に関する相談・情報提供件数及び相談を経由しての移住者数	20 人	30 人	政策分野 2
イ	市内施設宿泊者数（延べ人	43,998 人	46,242 人	政策分野 2

	数)			
イ	市内施設外国人宿泊者数 (延べ人数)	2,298人	2,537人	政策分野2
イ	観光入込客数(延べ人数)	655,403人	723,618人	政策分野2
ウ	ひろさき広域出愛サポート センター登録者数	14人	64人	政策分野3
ウ	妊娠期から継続的な支援を 実施した人の割合	99.04%	100.0%	政策分野3
ウ	乳児家庭全戸訪問実施率	98.50%	100.0%	政策分野3
エ	がん検診受診率(胃がん)	14.5%	14.5%	政策分野4
エ	“(大腸が ん)	20.2%	20.2%	政策分野4
エ	“(肺がん)	17.3%	17.3%	政策分野4
エ	“(子宮が ん)	22.9%	22.9%	政策分野4
エ	“(乳がん)	22.9%	22.9%	政策分野4
エ	特定健診受診率	42.2%	60.0%	政策分野4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例(内閣府):【A2007】

① 事業の名称

黒石市まち・ひと・しごと創生事業

ア 田園観光産業都市黒石市におけるしごとづくり創生事業

イ 田園観光産業都市黒石市への新たなひとの流れづくり創生事業

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望づくり創生事業

エ 健康都市宣言に基づく健康づくりと「黒石力」（＝コミュニティ力）を活かした地域づくり創生事業

②事業の内容

ア 田園観光産業都市黒石市におけるしごとづくり創生事業

豊富な農林水産物や地域に古くから伝わる食資源、6次産業化や農商工連携など「食ビジネス」の創出・拡大、地元・誘致・進出企業が有する高い技術力や販売網を活かした業務拡大へのサポート、黒石インターチェンジロジスティクスクロッシングに進出する企業に対する支援など、地域に存する様々な資源を活用したしごとづくりや地域住民が主体となり地域の課題をビジネスチャンスとするコミュニティビジネスの展開を支援する。

【具体的な取組】

- ・有機が湧く郷づくり支援事業
- ・黒石 I C ロジスティクスクロッシング推進事業 等

イ 田園観光産業都市黒石市への新たなひとの流れづくり創生事業

歴史と伝統ある文化が感じられる特徴ある観光資源を活かすため、黒石ねふた・黒石よされなど住民と見物客が一体となって楽しめる祭りやオーストラリアから八甲田山へのスキー観光客に対する素朴な雰囲気を持つ温泉等の魅力を発信するほか、津軽14市町村で設立を目指す「津軽観光DMO」を中心とした広域圏での観光振興を進める。また、中心市街地活性化基本計画の目標達成に向けた事業を実施するほか、県と連携した首都圏等からの移住増加に向けた施策を進めるとともに、本市に在住する若者が定住できる条件整備に努める。

魅力と活力のある商業環境づくりと街なかの賑わい創出を目的に平成31年4月に策定した「黒石市中心市街地活性化基本計画」の目標達成のため、創業・起業希望者の支援や空き店舗への後押しにより魅力と活力のある商業環境つくるほか、「こみせ」の保存・修景や電線類地中化、歩道整備などでゆっくり回遊できる環境の整備、市立図書館の整備や旧大黒デパ

ートを解体し、跡地の公益機能を有する新たな複合施設を整備する。

また、移住や定住等を推進するため、地域で育まれてきたコミュニティ力を磨き上げ人々が触れ合う生活空間づくり、市民参加型の社会環境づくりを進める。

【具体的な取組】

- ・市民サービス施設整備事業・中心市街地再活用検討活性化事業
- ・黒石市立図書館整備事業 等

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望づくり創生事業

子育て世代包括支援センターを中心とした子育て支援の充実を図るほか、子ども会育成会、児童館、りんごクラブなど若い世代の黒石力を活用した体制の充実に努めます。また、広い世界観を持ち、文武両道を重んじ、常に思いやりの心を大切にする人づくりに努め、子どもたちの希望をかなえるための教育環境を整備します。

また、市内の医療機関で安心して出産できる医療体制の充実に取り組み、安心して妊娠・出産できる環境の充実に努めます。

【具体的な取組】

- ・地域子育て支援拠点事業
- ・算数・数学「UPる」事業 等

エ 健康都市宣言に基づく健康づくりと「黒石力」（＝コミュニティ力）を活かした地域づくり創生事業

平均寿命と健康寿命を延ばすため、平成27年の「黒石市健康都市宣言」に基づき、保健協力員等の協力のもとで市民一人ひとりの健康的な生活習慣づくりや心の健康づくり、スポーツを通じた健康づくりなどを促進する取り組みを進めます。

また、住民の協力による防火や防災をはじめ、コミュニティビジネスの実施など持続可能な地域コミュニティの自律的活動を促進する取り組みを進めます。

【具体的な取組】

- ・ 特定健診・特定保健指導
- ・ 黒石市ごみ減量化事業 等

※ なお、詳細は、第2期黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ

④ 寄附の金額の目安

1,000千円（令和2年度～令和6年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度上半期（4月～9月）外部有識者（黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会）による効果検証を行い、進捗状況や取組みの修正について協議する。検証結果については、黒石市ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

令和2年4月1日から令和7年3月31日まで